

大雪への備えはお済みですか？

☎ 役場総務課消防防災係 ☎(295)2112内線311

ご確認ください！ 大雪対策

大雪で心配されること

商店への品物の搬入に時間がかかり、品薄になる

車の使用が困難になり、食料や燃料を買出しに行けなくなる

人工透析や投薬など、生命にかかわる通院ができなくなる

停電や電話の不通が生じる恐れがある

カーポートやビニールハウスなどが損壊・倒壊する恐れがある

ドアの前に雪が積もり、外に出られなくなる

事前に備えておくべきこと

水、食料、燃料(灯油など)や、持病の常備薬を少し多めに持つようにする(1週間程度)

・備蓄を無駄にしない、『循環備蓄』という備え方があります

補充したものを
まとめて管理

消費した分を
こまめに買い足す

日付の古いものから
こまめに消費する

停電に備えて、使い捨てカイロ、電池、懐中電灯、携帯電話の予備電池、携帯ラジオを常備する

カーポートやビニールハウスなどの耐雪化に取り組む

スコップなどの除雪用具を常備し、降雪時期が来る前に整備・点検する

材質	プラスチック製	金属製と比べて軽く、軽く積もった雪には最適ですが、凍った雪には向いていません。先端部分にステンレス板が付いているものが効果的です。
	ポリカーボネイト製	プラスチック製より強度があり、金属製より軽いですが、凍った雪には向いていません。
	金属製	硬く凍った雪にも効果的です。
形	角型	先が平らになっていて、雪を多く運ぶことができます。
	丸型	鉄製で先がとがっていて、硬い雪も砕けます。

昨年2月に関東地方を襲った2度の大雪では、毛呂山町内でも60センチメートル前後の積雪があり、各所で大きな被害がありました。

また、路面の凍結、カーポートの損壊、植木の損害など、私たち一人ひとりの生活にも大雪の被害が発生しました。

農業面では、ビニールハウスの倒壊、観光面では、倒木で、林道などが通行不能になり、鎌北湖のボート乗り場の損壊と合わせ、復旧に多くの時間を要するなど産業面でも記録的な損害となりました。

この災害を受けて、除雪や安否確認など、地区の自主防災力や個人での災害対策の重要性を痛感した人も、多いのではないのでしょうか？

皆さんご承知のとおり、災害は突然やってくるものです。そのため、一人ひとりの日ごころからの意識や対策が、非常に重要です。

雪害から1年、ご家庭での備えは万全ですか？大雪に備え、各家庭での対策を再確認しましょう。

降雪・積雪時の注意

除雪は早めに、安全第一で

除雪時の注意

- ・雪かきは見ため以上に重労働で、落雪などの危険もある。必ず2人以上で行い、十分な準備運動をしてから開始する
- ・こまめな水分補給や体温調節、早めの休憩を心がける
- ・はしごや命綱、除雪機などは、事前に点検して安全を確認してから使用する
- ・低い場所でも、落雪や落下に注意し、屋根に近づきすぎない

除雪の装備例

屋根の下の雪かきや高所での雪下ろしには必ずヘルメットをかぶる

防水ですべりにくい手袋

携帯電話
(緊急連絡用)



タオル
(汗ふきと防寒)

防水の上着
(目立つ色で蒸れないもの)

高所で作業する時は安全帯や命綱

滑りにくい長靴
や防寒靴

極力、外出はしない

雪が降る前からこまめに天気予報を確認し、「外出を控える」「早めに帰宅する」などの判断をすることが大切です

やむをえず徒歩で外出する場合は

- ・すべりにくい靴、手袋を身につけ、常に両手が使えるようにする
- ・決して走らず、つま先とかかとを同時に地面につけて、ゆっくり歩く
- ・路面凍結している場所や側溝の上、軒下を避けて歩く

やむをえず車で外出する場合は

- ・道路情報を事前によく確認する
- ・車間距離を十分にとり、急ブレーキを避ける。カーブは特にゆっくり曲がる
- ・除雪の障害になることもあるので、車両の放置や路上駐車を避ける

共助の除雪にご協力ください！

異常な降雪時、通学路や、利用者の多い生活道路の除雪には、地域の皆さんの協力が必要不可欠です。また、高齢者世帯など自力での除雪が困難な人もいます。

助け合いの除雪にご協力をお願いします。